

Enjoy Talking!ポスター 使用ガイド

教室内で「話す(やり取り)」活動をする際に活用できるポスターをご用意しました。
ぜひ教室に掲示いただき、即興的に会話を長く続けさせるご指導にお役立てください。

帯活動など、日常的な「話す(やり取り)」活動でご活用ください。

※令和 3～6 年度版の『ONE WORLD English Course』をご使用いただいている場合は、Activities Plus の Questions & Answers の実践などでご活用ください。

内容物

- ・使用ガイド(本紙)
- ・Enjoy Talking!ポスター

二次元コードリンク先のコンテンツ

- ・**Communication Sheet** …教室内で話す(やり取り)活動の際に、トピックや話し相手から聞いた情報をメモするワークシート(2 パターン)。必要に応じて、裏面や別紙に学年毎の質問例「Activities Plus: Questions」(PDF 3～5 ページ目)や「使えるフレーズ集」(PDF 6 ページ目)も印刷できるようになっています。
- ・**表現例の音声データ** …ポスター本体や Communication Sheet の裏面に掲載されている表現例の音声。

※ 二次元コードは、ポスターの右下や Communication Sheet 裏面の右上に設置しています。

活用例

- ① ポスター内の二次元コードリンク先にて Communication Sheet の必要な部分を印刷し、生徒に配付する。
- ② 教師から話題を提示し、Communication Sheet の「Topic」欄に記入させる。
- ③ その話題について教師が英語で話したり、生徒とやり取りをしたりするなかで、その話題で使える英語の表現を生徒に聞かせる。
- ④ その後、必要に応じて、「Activities Plus: Questions」や「使えるフレーズ集」内の表現例を確認。
- ⑤ 「やり取りポスター」を見て、やり取りの流れを示す。
特に、Step 3 では質問者は相手の応答を聞いた後、リアクションや自分が興味をもった点を深掘りする質問を加えたり、応答者は相手にも質問を返したりして、会話を続けることを促す。
- ⑥ 会話を継続させる目標時間[学年や状況に応じて 30 秒～3分程度]を設定して、ペアでやり取りを行う。
(⑦ ペアの相手を替えて、繰り返す。)
- ⑧ Communication Sheet の「活動のふり返り」欄を用いて、活動のふり返りを行う。

● 2種類の Communication Sheet について

その日のターゲット表現等、使わせたい表現が決まっている場合は、パターンAを使うことをお勧めします。

〈Step 3 質問・応答〉の1つ目の質問で、ターゲット表現を使えるTopicを設定しましょう。

上記活用例の②・③の段階で、応答や2つ目以降の質問で使えるような表現をいくつか確認しておくといよいでしょう。

パターンBを使用する際には、教師は大きなTopicを決めるだけなので、〈Step 2 話題導入〉や〈Step 3 質問・応答〉の最初の質問から生徒が自由に進めることができます。

以上